(3)

する

の発見や判断力など社会 ション力や表現力、

容する力、

コミュニケー

課題

様性や異なる価値観を受 速度的に進みますが、 の私立大学が、

意を同じ

くするところではないで

社会の変革や浮沈は加

増えて、

多

り歴史を刻んでいる多く

建学の精神に則

要となるでしょう。幸

教育研究の根底に必

間性の保持、敢えて言え

いから、

、間の尊厳を守る考え

とって代わる時代に、

ま

べきことは、倫

人格など人

の「学力の三要

新がもたらす慌しい生活 が必要だと思います。 また、グロー レスに耐え得る体

「克己殉公」

るグロー 層進展すると、 精神力、胆力の育成 バル人材の育成 立時の思いである「済生

「知を創造し、

内外で指摘されるようが必須ですが、現在でも 伝統の継承との両立をど 自国の文化、 歴史、 難し 値を社会に還元する。

白田先生のお話にあっ 多方面にわたる仕事 人類を豊かにする」こと

般的にはこう

自動化やロボットの発 人々に多くの余暇 会を生き抜き、 み多様で複雑化された社 育(私立大学) した社会情勢への学校教 がちになります。 グロー

ハル化が進

き掛けはもちろんです

産業界との連携、

協

は必須であり、

国への働

の対応は

その上で研究費の獲得

(昭和30年3月28日第三種郵便物認可) 回から、新たなヴィジョ 組営の両 とそのためのシステム (々が豊かな生活を享受 や社会貢献等につ な年齢層の学生の受入 るために、各大学は様 与えてくれる筈です た専門分野を超えた学士 ればなりません。 ける人材を育成しな

先に答申され

その

とは親和性が高く連携は

であれば薬学系や工学系 働も不可欠です。医学部



はないでしょうか。

苗

武蔵野音楽大学は「音楽芸術の研鑽」と併せて「人間形成」を教育方針として重視

活発とは言えません。よ

三〇年という見通しの難 立大学の占める位置は、 ると思われます。今後の ばなりませ い価値を創造するため 新しい時代に適った新り これまで以上に重要にな 多様な私立大学のそ

ち 一 あら 変 加 ます。 す。 我が国における総人口の長期的推移

タの グス、 ろには、 出しているのではないで ઇ 材を私立大学が多く生み をかけた戦いもほぼ終わ は知恵を絞って生き残り 様相 社会をリー M & A 等) 教育コンソ ○周年を迎えるこ 日本の私立大学 () | | ハル社会を支 ルディン ドする人 り広い視野を持ち、 た連携強化が望まれま 連携など多様性を意識し 文化を明確に示すこと も起こることが想定され ば法学や経済学などとの

新し

いものを生み出すと

るべきです。

さらには、

例え

れぞれの特色が生かされ

つ大学との交流を図らな

手を携え、各々の学内文 るとも考えています。 掛けていくべき内容であ 課題ではなく大学同士が 化も育みつつ社会に働き つの大学で取り組むべき 必ずしも一 か。 様性を求めていくことに 受け入れる学生、育成す 今後は学部の専門性は維 なるのではないでしょう る学生にもそのような多 少子化を考えれば、

のとおりだと思います 形成していく役割を、 てはならないでしょう。 会に羽ばたいていかなく が可能な人材に育ち、 からも大学が担わなけれ 育・研究を通して、これ を持ち、多方面での活躍 大沼 我が国の社会と文化を その新たな方向を 赫先生のご意見 域振興を担う大学としけて設置され、地元の地 経済の低迷とともに、 る人材を多数輩出して 大学は、地域の要請を受 るのです。 地域経済・社会に貢献す 地域との交流を深 地域振興に貢献し、 方に存在する多くの しかし、 地元の地

ん。特に、 難になっています り定員の確保が非常に困 若者の大都市志向が急速 おける少子化の加速によ に進行し 方での人材育成の減退と このことから、 地方に 地域 りました。 目標を実現すべく大学総 力を挙げ取り組んでまい ましたね。

となっています。 定員管理の厳格化が課題 大都市圏の大規模私大の 域性、 見ても実に多種多様で個 学」とありますが、 大学はその教育目 ととに「個性が輝く大 も実こを重い、規模、どの面からい。その教育目標、地 目, 標 私 立 立 ス

(1868年) 3. 330万人 型 府 成 立 (1338年) 4,000 3,000 (1603年) 2,000 1.2275 (1192年) 757万人 £1B万人 1.000 800

果に過大な期待はできま で私大の経営危機ばかり 有効かというと、その効 八歳人口の減少 国公立 ねながら、 を生かす方策を国に働き へ転換していく努力を重 い高等教育システ 私学の良い

と考えて としての地域貢献である 一つは人材育 もう一つは知の拠点 います。 成であ 従っ

を果たさなければならな も積極的に参加し がら地域に還元する役割 の先端的情報を網羅しな 大学は国際学会等に そのためにも

本学のみならず、 以来二〇 る存在にならなければな や官公庁にとって頼られ れるべきであり、進化の大学の研究はより強化さ うな先端的研究体制を背 求められると思います 激しい技術革新を理解 つ研究に生かす努力が ん。また、このよ 地域の産業界

るかもしれませんが、そ 後よりボーダーレス化す グロー 景に、社会をリ ばなりません。世界は今 人材の育成に努めなけ ルに活躍できる

迎える私

小規模大学の生き残りに ことは重要ですが、 地方 適切に定員管理を行う 出典:「国土の長期展望」中間とりまとめ 概要(平成23年2月21日国土審議会政策部会長期展望委員会 を捉えて大学改革を進め学が社会や時代のニーズ かったのです 欠です。それぞれの もちろん自助努力は不

ように思います。真のといっても過言ではな

のことが大学の価値

森田

私からは再び国

Ų

として、高大接続を少

将来を決めるす

べて

際化の話をさせて頂けれ

高大接続改革では、高

設置されているかもしれ

な名称で全国に

ば専門職業大

割を越えましたけど、

先

合った数に見直すべきで 定員を現在の少子化に見

超少子高齢化において村崎 同感です。

日本は大学進学率が五

同時に、

国公立大学の

然として重要な課題で

す

い額ですね。

える必要があります。

ための枠組みを大きく変 補助金格差などをなくす 私立大学間における国の

給付型奨学金の導入も依就学支援金制度の創設、

や無利子奨学金の拡大、 として、授業料減免措置

円と最下位で圧倒的に低

たり公財政支出が一七万のみに絞ると学生一人当

のとおりです。私立大学がかなり低いのはご承知

化の時代を乗り越えて行

現在の国・公・

庭の教育費負担の軽減策

している高校生には、

家

これからの超少子

かかわらず、

進学を断念

また、

学力があるにも

で日本の公財政教育支出

ばと思います

世界の流れはますます

(仮称)、大学入学希望等学校基礎学力テスト

ません

私立大学への

大学入学希望

いるかもしれません。 補助五〇%が実現されて

様々な要因があります

明白なのは進学する

の発展はあり得ません

学進学率の伸び悩みには 数値とは言えません。 進国の中では決して高い

改善されませんし、私学れば私学の定員割れは、

では激減し

一八歳人口は、

人口は、日本

急増しています。

まず国

保護

いるかもしれません

ある学生を育てるか

ح

に真に役立つ高度の実力ます。そしていかに社会 高めることが重要となり

一つとしたいと思いまそれを私立大学の魅力の

学びの場が必要であり、

役割とは 大学の地域におけ

ける役割とは何でしょう

多様な教育をしているこ う人材養成に応えるに 国公私立大学が、 多様な役割分担を担 の使命に基づい



| 教育竹加畑旭日本 めさり 体の大学づくり」に取り組む

への対策など年々危機管

的にアピー

を強力なものへ転換する充実のために、財政基盤 ること。また、高等教育 な情報収集と発信に努め な私立大学の特性を国際 本協会は、そのよう -ルし、具体的

私立大学のため、加盟大学のため 私大協会がとるべき方策とは

いのです

個性を色うくくいた。 られていますが、 うか。 ているような施策が講じ 情です。偏差値の高いと を行っていかなければな向けて、一層の働きかけ とろにばかり目配りされ らないのではないでしょ ダイム・シフト」実現に 個性を危うくされている また、加盟大学は制度

されると確信していま 力を持つ私立大学の力量 自由な発想と柔軟な対応 ために、これまで以上に 今後ますます必要と 我が国の発展の

自大学がまず何をやっ



北海学園大学では、地域社会の発展や人材育成などの 強化を進めるため、北海道と連携協定を結んでいる(写 真は高橋はるみ北海道知事と森本理事長)

ています

助金は、 政策の影響は大きいのでの競争的補助金等の私学 金、特別補助や期限付き要であり、経常費補助 に影響を与える極めて重 森本 私学の経営行動 私学における補 来大きな禍根を残すこと になるのではと恐れを抱

2106年(低位推計) 3.770万人

その地域の

先にも述べま

よう

そし

さらに大学では、

高校

研究の質の保証に他なり

教育

社会人の学び直し、高齢からの進学だけでなく、

高齢

学生のためのものでなけ ませんが、何より

生の受け入れ体制、 習時代への対応、国外学 者に対する教育、生涯学

外国

徳島文理大学では教育への信頼を守るべく、「安心」と 「安全」を掲げ、学習指導体制の改革と施設の耐震化整 備等を行った

ば、OECDロップで 佐藤 世界を見渡せ

い事実でありますが、私してきたことは紛れもな

いたいと私も思います。 な予算要求を行ってもら

へに対する教育等、 多岐

ればなりません。その

い講義をし、良い指導を

教員がいた

に
良
た

にわたる個別の才能を自

か、教員の教育・

力を

幅広い教育環境を整えた 由に伸ばすことができる

文化の発展・向上に寄与 してきました。 ところが森本先生のお とは言え、地方にある とは言え、地方にある 化による学生確保は容易

私立

必要だと考えています。

「グローカル」な視野が

にとっては、何よりも

来型のテストからCBT 称)の導入とともに、従 者学力評価テスト(仮

らい将来に対応し得る人とのように、予測しづ

への移行といった新たな

られていることなので

学では年間数十万~数百

得ることが必要なのです

現在日本での大学進

者に選ばれる大学になり 内の高校、受験生、

の差異があります

も、国公立大学と私立大授業料一つを取ってみて

なりの教育費負担が課せ 学生・保護者の方々にか

社

グロー

、ルとロー

カルを

とより、私立大学は、理運営の充実と強化はも 来を担う人材の輩出に努 を持っているので理念や 国・公立と違って理事 色化を図り、我が国の 改革を行 めるべきであります。 伝統を尊重し今後も自己 徹底した特

ルな教育内容と同時に、世界を意識したグローバ

かなければなりません。 グローカル化に備えてい 合わせ持った、すなわち

期や回数をどのように調 の採点をどうするか、 として捉えれば、 す。これらを直近の問題 方式も課題となっていま

できる状況を整えておく

附帯決議の「速やかに二

是正し国の施策を変えて ですね。こうした格差を その差は、絶望的なほど

> その原因の一つである、 番低いと言われており、

学費の負担が保護者にと

って大きいということを

本協会が中心

分の一とする」という助

は、私立学校振興助成法 学の持続的発展のために

我が国の発展と私立大

が、医療系大学の場合、

学率は、先進国の中で

ことが重要だと考えてい

記述式

学である基本を守りなが ますし、そのためには大 私立大学の使命でもあり 材を輩出していくことが

ダイナミックに改革

整するかなどに苦労をし

ですが

ます。

成に向けて、

本協会とし

て根気強く活動していか

とがなにより重要です。 となって運動していくこ

の支援制度の充実、また 理解し、私学独自の学び

公的補助があれば進学率

図ることが大切です。 シップ力で学内の統一を は、理事長のマネージメ はできているので、 心となりガバ 学長のリ そのとおりで あと

そ きます 設の充実、また自然 教育研究の環境整備 がります。 地域社会からの を得ることに 「安全」 災害 生施

めには通用しません。 高大接続改革を考える 佐藤 個別話題の補足

を行う新たな高等教育機

れるべきであり、施策にボトムアップこそ求めら る将来、高等教育による 振り回される必要などな 人口が減って働き手が減

要ではないでしょうか。 経過し、 るように、私学助成におシフト」が求められてい ラダイム・シフト」が必 いても四〇年を経て「パ

人化して、国立大学法え、そのおかげで近年法 上げたのは、 差をなくすために、故・ 法人化を懸命になって唱 矢次専務理事が国公立の

き続き本協会の重要な役 差を縮めていくのが、引差は歴然ですよ。この格 ました。とはいえ、法人 化といっても私学との格 へ、公立大学法人になり は、大学

るため、地方の小規模私大学政策が国立中心であ 立大学は常に無視されて いるように感じられ、

我が国の総人口は、2004年をピークに、今後100年間で100年前(明治時代後半)の水準

に戻っていく。この変化は、千年単位でみても類を見ない、極めて急激な減少。 2004年12月にピーク ----12.784万人 高齢化率 19.6% :2000年 13,000 12,693万人 2030年 11.522万人 高勢化率 31.8% (1945年) 7, 199万人 9.515万人 2100年(高位推計) 6.000 6,407万人 2100年(中位推計 4,771万人 高齡化率 40.65 1000 1200 1400 1600 1650 1700 1750 1800 1850 1900 1950 2000 2050 2100_{(#} 学の個性・特色を発揮 の建学の精神のもと、 くてはならない多様な人 小さいながらも大学独自 その地方においてな

を受りす。 生」を謳いながら、国り 生」を謳いながら、国り 模大学の定員増は、なんでしょうか。今回の大規 者世代の流出に繋がり、 となっているのではない 境の中で」に偏ったもの 退に拍車を掛ける要因に 地方産業や地域経済の衰 学生集中は地方からの若 話にありましたとおり としても防がねばならな 大都市圏の大規模校へ 施策の方向は

「競争的環 すが、大学にとうこ、
先ほどのお話に関連しま 思われます。 も高度化することが求めが高度化すれば人材育成 なことではありません を目指すことが肝要だと え、就学したくなる大学 高まると予測されます の多様化するニーズに応 するので、 ンスと捉えるべきだと 大学進学率は-大学の存在意義は 三〇年後の社会 学生や社会人

は役割分担が自ずから異 国・公立と私学

> 課せられた使命です 学の精神に基づく私 由な教育、それこそ

> > 学に

の中にあって私たち私学 多様化していますが、そ

建

私立大学は建学の精神 中身を良くするため 会、学生のニーズに 識改革をして自己 た学部学科の統廃へ 来の希望をかなえ、 大学は贅肉をおとし、 今後も個々の学生の さらに教員は教

台を 台っ

リキュラムもよくなら 役割が果たせ、それ 育を受けた学生が地域社 献することにより私 会に必要な人間とし なりません。質の高 なく努力を続けなけ 、技能の向上に絶え間改革を良くするために意 れば学生が集まり 貢 教 であり続けられないし、 そうでなければ、学生そらないということです。 カルな大学でなければな それぞれの地域に根ざし して地域に魅力ある大学 地に足をつけたロー

将来、

自宅のPCからC

のではなく、

の前にあ

ています。給付型奨学金

留学生受入れの課題

が上がる可能性があると

ます。

なければならないと考え

制度の議論が積極的に進

新所得連動返還型奨

森田

留学生受け入れ

あまり理想的な夢を追う

大沼 肝要なことは、

期的スパンで考えれば、 三〇年後というもっと長 ているわけです。

入試を受けることが当然BTで各種テストや大学

クリアすることこそが、

になっているかもしれま

なによりもまず先決と言

学金制度が開始されるこ

についても、

国公立に比

実感するのですが、

日本

私も九州にいて

ないのが現実です。 べて私学の受け入れは少

国公

躍にかかっており、若者

の将来の発展は若者の活

費用など負

境を整えなければならな

いのです。特に私学にお

が安心して修学できる環

豊かな人材を育成するた 躍できる創造力と想像力 これから世界の舞台で活 けていた、という昔話に時刻に日本中で試験を受約五〇万人の受験生が同 せ なっているかもしれませ また、センター試験も

か

る役割は何でしょうか。おいて本協会に求められ ですが、そうした社会にいました。最後に課題③ しょう。 えるのではないでしょう 大沼先生からいかがで 小出 ありがとうござ とは歓迎すべき施策です

です。 と感じています。高等教 材を輩出していくことが 私立大学の使命の一つで 響を与えているのが現状 一分な公的助成が重要だ 我が国の将来を担う人 所得格差が進学に影 その使命に応える

育のシステムも七〇年を 「パラダイム・ ことが重要です として留学生受け入れに ません。これは一私学だ みも早急に構築していく 全体の問題です。本協会 の差はどうしようもあり み、この国公立と私学と ついての具体的な取り組 けではなく、 担が私学より少なくて済 加盟の大学

じる程です。私学が一生を収奪しているとさえ感

極めて大きく、教育機会

ける学生の経済的負担!

そもそも本協会を立ち 国公立との ます。 懸命苦心をし、若者にと ざるを得ない状況があり システムを準備しても、 経済的負担が妨げとな って魅力ある独自の教育 学生が就学を断念せ

進学率の低さの理由に経 て大きな問題です。 特に地方において大学 地方の若者にとっ

目ではないかと私は考え 資金については、政府 と思います。 を是非推進して頂きたい まで授業料が無料化され 済力の低さが指摘されて さらに、補助金等公的 大学の授業料無料: 本協会において 高校

が必要となるでしょう。 築には、様々な役割分担

小林先生のご意

(2面からつづく)

どの私学は、

それぞれが

れにどう応えるかではな

とが肝要であると考

ことに 私立

学生のために大学として

加盟大学全体の連携を図め、本協会はそのうえで

Ŋ

パラダイム・シフ

高 柳

おっしゃるとお

すが、

まだ十分とは言え

っていくべきでしょう。

なりません

大学生の八割近くを占

研究施設整備等の老朽化 学財政支援、校舎や教育

の予算の充実につ

今後の国への積極的

ト」の転換がなされねば

をオタミュー 公財政支出の国 とオタミュー 公財政支出の国

私学助成の「パラダ

イム・シフト」が必要

個性ある人材養成をとお める私立大学が、多様な

して我が国の発展に寄与

理の重要性は増しており

できること、行政機関、

どの人材育成が望まれて

レス世界を創生できるほ

の存在意義を見出し

くべきではないでし

必要になるでしょう。地域との連携もますます

いるのではないでしょう

疎外感なく様々

異文化理解、国際的思考の「職業能 の育成を図り、

力」、異文化里図創造的思考の | 的コミュニケー つの能力育成を行う大学きる「国際的能力」の三 て効率化を図りつつ、 教育の発展が必要になる ITを道具とし ションで 時 途をたどる中、 なければなりません

着けさせる教育に転換し っている課題を発見し分 不透明な社会で問題とな 一八歳人口が減少の一 の解決する能力を身に 不確実で

すでに私

識、情報収集力と分析力学際的知識、実践的知識、

た熾烈な戦いが始まって立大学は生き残りをかけ

平成28年10月19日(水曜日)

人間の不安は科学の

発展から来る……」とは

漱石の言葉ですが、

います。 ゆる情報を収集し分析し 本協会は、

数年前よりⅠ として加盟 国際的競争 努めなければなりませ 盟大学が連携を密にしな がら健全に発展するよう て加盟大学に提供 建学の精神に基づき それぞれの私立大学

環境の中 受けており、 トで世界第三位の評価を ョン工科大学連盟) 化させていくことが大事 本学は、 歩先を考え、自らを変 その活動が海外サイ らの留学生は自然と に社会情勢を読み、 現在では一六〇 にあります。 (国際ファッシ そのような想 海 とでしょう。 その 様に機能分化していくこ 本協会が三〇年後の創 的を果たすべく多

へほど在籍していま CTの活用は ´ィブラ

近年急速に広まりつつあ も同様です。 一ングの推進と、それ 日本が誇るiPS細 応用や創薬について に代表される技術革 人工知能の開発、 医学教育の現場に ビッグデー 話題に出ており 本法人は創

大学間、学問間、産業

そこから異文化を持

大学は自大学の

う。

の連携も一層促進され

いうことでは、産業界と

くてはならないでし

との異種交流によって、

大学の機能、

果たすべき

経済界や他分野の大学

強調されますが、

ることもできるのです

となっています。

中山

大学の地域にお

出して、世界へと発信すオリジナルな施策を打ち

の、抜本的な改善が急務役割を勘案したうえで

学と発明の循環によって 基軸として、新しいミッ 科 価 を 界との連携が重要に ればならないと思いま

しつつも多様な価値観 人ひとりの学生が、 思います。 て掲げています と推進」を重点目標とし に果たす私立大学振興策 森本 本協会は、

私は地方からの 「地方創生 請に応える力を持って その実現を可能にするた 将来を切り拓くのです の発展とそが日本社会の るのは私学であり、私学 的充実が不可欠であると 新しい時代の社会的要 私立大学の質的、

審議会から「二十一世紀にした一九九八年、大学にした一九九八年、大学 の大学像と今後の改革方 」と題した答申が出さ 中で個性が輝く大学 いて 競争的環境